

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぼ福祉会)
 事業所名 (地域密着型特別養護老人ホームたんぼ鶴の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベット株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月9日	3台	平成30年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>平成30年10月9日のパラマウントベット株式会社 担当者からの説明を受け、運用を開始。導入補助いただいた3台を当初、昼夜逆転などで夜間に動きのあるご利用者に使用。昨年同様に、入居初期の方への利用による行動パターンの確認。夜間多動の方への見守り補助として利用している。また、昨年度「愛知県介護事業所 ICT 導入支援事業」により、施設にて使用している介護ソフト「絆システム」と眠りスキャンの連動を図り、睡眠や覚醒、呼吸、心拍など介護記録への自動記録を始めた。夜間多動の方への利用から、迅速な情報を得ることで、医師等との連携による状態の安定を進めることができ、安定的な夜間状況の確保による職員の夜勤時の負担軽減等に役立っている。また新規入居者の入居後の利用により24時間の状況把握を進めたことで、ケアプラン等作成への情報を得るツールとして使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① 介護業務の効率化 データーをもとにユニット会議や担当者会議など様々な場所で検討利用している。24時間の行動把握を効率的に出来てきている。新規入居者への利用による状態把握の迅速化が可能となり事故等への抑制になっている。</p> <p>② 介護従事者の負担軽減 行動を把握することで、医師をはじめとする多職種との連携により対応方法を考えられ、結果落ち着いた夜間時間を過ごされるご利用者が増えた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙 4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぼ福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームたんぼ加茂の里)

サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H31年 3月 5日	10台	H30年 9月 10日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>特養入居者の比較的体動の多い利用者に使用(1ユニット1名に1台)10ユニット 使用状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目の行き届いた見守り・タイムリーなケア ベッド上の入居者の状態をリアルタイムでモニターリングを行い、入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化時や呼吸数の大幅な変動時にパソコンに通知する。 2. 変動時の記録をもとに個別ケア・ご家族やスタッフなどと共有する。 3. 生活状況が見える化し、サービスの質の改善や体調変化を観察 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 入居者の見守り 居室での「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が分かるので、スタッフの少ない夜間も、入居者の状況に合わせた介護できる。 2. 入居者の生活や行動に合わせた介護 目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位づけ、入居者の安心・安全・満足度の向上に繋がっている。 3. スタッフの労働環境の改善 居室での状況が見える化されることで、スタッフの精神的負担が減り、効率的な業務になっている。 4. 生活状況の見える化 睡眠状況・生活習慣が確認でき睡眠日誌が管理できている。 5. 関係者との情報共有 ご家族や施設CMへの報告、スタッフ間での情報共有、また睡眠導入剤を投与した効果検証などに役立っている。 6. 生活状況の見える化により、サービスの改善や体調変化の気づきができた。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月1日	3台	平成30年10月1日	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に導入した機器を含め、施設(特別養護老人ホーム・ショートステイ)内の眠りSCANの整備台数が40台となり、各ユニットに3台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況(在床・心拍・呼吸)やアラート設定(離床・呼吸や心拍の増減)した情報が自動記録できる仕組みとなっている。 <p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。 ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。 ・睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。 ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。 ・入所初期に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。 ・看取り期に使用し、睡眠・心拍・呼吸状態のデータに基づいた対応を行う。 ・認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。 ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。 <p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。 ・利用者様の安眠が保てるようになった。 ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。 ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。 ・呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。 ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。 ・看取り期にデータを活用して臨終期を予測し、最期の場面の家族立会いが実現できた。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)

事業所名 (明範荘短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月1日	1台	平成30年10月1日	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に導入した機器を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイ）内の眠りSCANの整備台数が40台となり、各ユニットに3台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況（在床・心拍・呼吸）やアラート設定（離床・呼吸や心拍の増減）した情報が自動記録できる仕組みとなっている。 <p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。 ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。 ・睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。 ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。 ・利用時に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。 ・認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。 ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。 ・利用者様の安眠が保てるようになった。 ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。 ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。 ・呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。 ・ケアマネジャーや家族へ実際の睡眠状況をデータ提供できた。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1（介護ロボット用）

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （ 社会福祉法人 ケアマキス ）
 事業所名 （ ショートステイケアマキス柴田 ）
 サービス種別（ 短期入所生活介護 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 24 日	1	平成 30 年 10 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>必要度の高い利用者や利用日数の比較的長い利用者に対し使用している。 パソコンを使用し、睡眠日誌から対象者の睡眠状況や覚醒状況、離床頻度などのデータを確認し、睡眠の傾向を分析している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>睡眠日誌を参考に夜間の睡眠時間が少ない方には日中の活動への促し等による睡眠の変化を確認できている。また朝、早い時間に起きてみえる利用者に対し、ちゃんと適切な睡眠がとれているか睡眠日誌で確認したところ適切な睡眠時間を確保できていることが把握できたため介護職員の疑問にも答えることができている。</p>			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠りSCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月27日	4	平成30年9月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>新規の入居者、体調不安定な入居者、終末期ケアの入居者に終日使用。ベッドマットの下に敷き、24時間ユニットのパソコン画面、ipad画面にデータを受信。睡眠、呼吸、心拍、動作状況のリアルモニタリングを実施、継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、新規入居者の行動把握、体調不安定者・終末期ケアの身体状況の把握により異常の早期発見が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入所者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化が図られている。また、体調不良の方への導入や終末期ケアでは変化しやすい入居者の身体状況がリアルタイムで確認できることで異常の早期発見ができ、介護従事者の見守りに対する精神的負担の軽減にもつながっている。</p> <p>新規入居者も入所前のアセスメントでは把握しにくい細かな情報まで読み取れる事で少しでも今までの生活パターンに近づけたケアの実現が可能になってきている。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 来光会)

事業所名 (介護老人福祉施設いわと)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		メーティスPRO (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月16日	1台	平成30年11月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッドからの立ち上がりなどで転落、転倒の危険がある方に使用。特に起き上がりや端座位になった時にセンサーが鳴るようにし、ベッドからの転落やベッドからの立ち上がり時に転倒しやすい方に使用し事故を防ぐようにしている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>施設内ではセンサーマットなど使用している方は多いが、このベッドでは起き上がりや、端座位になった時にセンサーが鳴るように設定できるので、素早くその方に合わせた対応ができるようになった。</p> <p>このベッドを使用している方のベッドからの転落は減少し、職員の夜間の精神的、肉体的負担も減少しました。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1（介護ロボット用）

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府大府短期入所事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年11月26日	2台	H30年11月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) をデイパーク大府短期入所事業所の居室に配置し、継続して、ご利用者の状態に合わせてうまく活用ができております。ご病気によりナースコールを押せない方または認知症等で夜間、徘徊等をされる方への見守り用ベットとして上手く利用させていただいております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで動きが察知でき、事故発生の防止や職員の見守りに対する業務負担軽減に大変役に立っております。特に夜間職員の人数が少ない場合は非常に活用できております。なので事業所における大きな事故の件数も減少しております。</p> <p>また職員の訪室により逆に睡眠を妨げたり、睡眠の質の向上にも大変役立っていると思います。大変効果的な導入であったと職員一同満足しております。</p>			

(注) 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1（介護ロボット用）

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人 長福会）
 事業所名 （第一老人デイサービスセンターデイパーク大府）
 サービス種別（ 通所介護 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月25日	2台	H30年10月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>引き続き見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第一老人デイサービスセンターデイパーク大府内の静養室に配置させて頂き使用しております。ご利用者様の症状が重度の方や長時間座位の車椅子での維持が困難な方、体調不良の方などの活用させていただいております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入することで、体調不良時、休憩用のベットとして利用もでき、日中のご利用の中で現在も大変効果的に活用できております。センサーベットの為、体動や動き出しのタイミングで援助ができ事故の発生防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員のストレスの軽減にもつながっております。また unnecessary 訪室が減って、睡眠の妨げにも役立っております。</p>			

(注) 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添 1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第二老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年9月28日	2台	H30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>継続して見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第二老人デイサービスセンターデイパーク大府のデイサービス静養室に配置し、静養室 8 台中 2 台を使用しております。デイご利用中に長時間座位が困難な方だとか体調不良の方などの静養ベットとして活用させていただいております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用したことで、ご利用者の体調や動きに応じ普通ベットと見守りベットと使い分けて現在も使用しております。このデイでも事故発生防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減やストレス軽減にもつながっており導入後も職員は大変満足しております。</p>			

(注) 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り・コミュニケーション		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H30年10月26日	8台	H30年10月26日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>以前と同様に継続的に、以下のような入居者の方を中心に使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症が重度で歩行のふらつきが時々見られる方 (歩行時に転倒リスクが高い方) ・夜間帯に比較的頻回に、ベッド脇のポータブルトイレを利用される方やトイレのために起きられる方 <p>センサーの段階は、全て「起き上がり」(最も早い段階でコールが鳴る)で反応するように設定している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒や転落のリスクがある入居者の方に使用することで、常に傍で見守りを要しない状態となり、職員の精神的負担軽減になっている。 ・機器の導入により過度な訪室が減ったことで身体的負担軽減になっている。 ・床設置センサーマットでは転倒リスクのある方も歩行してから駆け付けていたが、機器の導入により立ち上がりなどの早い段階で駆け付けられるようになり転倒リスク軽減になっている。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)

事業所名 (老人保健施設ひまわり)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	4	平成 30 年 9 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している（平成29年度購入分をあわせると4ユニットに各2台ずつ配置）</p> <p>①看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握 ②夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握 ③夜間の排泄パターンの把握 ④夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止</p> <p>主に上記4つの目的で活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。</p> <p>②眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。</p> <p>③離床検知システムを活用することで、排泄パターンが把握でき、排泄支援の評価に役立った。</p> <p>④ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。</p> <p>⑤終末期になると覚醒時間が短くなり水分補給のタイミングが難しいが、眠りスキャンを使用することで覚醒は把握でき、タイムリーに水分補給ができる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム建国ビハラー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月26日	4台	平成30年11月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・センサーベッド導入以前から使用しているセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドを併用し、使用。転倒、転落リスクが高い方の状態に合わせてセンサーマット、センサーベッドを使い分け、事故防止に努めている。</p> <p>1. センサーベッド使用者の選定。 (ベッドからの転落、転倒リスクが高い方や新規入所で徘徊が見られる方等を選定。)</p> <p>2. 定期的にセンサーベッド使用者の導入後の評価と見直し、検証を実施。 (ヒヤリハットや事故報告等を分析。再検証し、随時、センサーベッド使用者の見直しを実施。)</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>・各入所者の状態に合わせて通知モードを設定。(動き出し、起き上がり、端座位等)通知モードを設定する為に、その方の状態を職員が注意して観察するようになった。設定後も通知モードの再検討を行い、事故予防に努めている。</p> <p>・起き上がるタイミング等が分かる事によって、職員が訪室する事が出来、ベッドからの転落予防が出来ている。</p> <p>・夜間や日中、職員配置が少ない時間等、センサーベッドがある事で職員の精神的な負担や身体的負担の軽減に繋がっている。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月26日	2台	平成30年10月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善(誤報の有無)夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、毎日チェック表に記録している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステムM2は、機能性が進化したベッド型ロボットとして導入し、例えば頻回に離床する利用者の行動を自動感知システムが段階的に反応、センサーコールにつなげることで転倒等のリスク軽減に寄与している。また、ベッド移動等でいったん電源コードを抜いても、再度電源を入れれば自動的に前回の設定が再開され、職員の負担は軽減されている。液晶パネルはカラーで見やすく操作も簡単であることから、新規採用職員への操作指導も適正に実施することができる。利用者の体重管理も概ねシステムと連動できているので、栄養管理面での配慮につなげることも可能である。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらに機能性を活用できるよう検討を進めていく。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊水園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
ベッド内蔵型見守りロボット		見守りケアシステムM2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年 10月 23日	2台	H30年 10月 23日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入以降常時2台稼働している。長座位、端座位など利用者様の状況に合わせて設定を変え、利用者様の状態が落ち着いたり、ニーズに合わなければ他の利用者様への変更を検討し、導入効果を期待できる方に使用している。使用状況は毎月各フロア介護主任がまとめ、チーフ会議で報告している。</p> <p>数回、電源が落ちていることあり、業者を呼び、リモコン交換で様子見るも不具合の原因は特定できず。</p> <p>PHSの仕様変更あり、ナースコールの連動ができなくなり、ケアステーション内での応答のみの対応となり、対応が遅れてしまう状況となった。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ナースコールを自己にて押して職員を呼ぶことができない上に、自己にて離床すると転倒リスクが高い利用者様や入所直後や退院直後で様子観察が必要な方への対応など、なるべく早い段階で対応をすることで転倒防止に効果がある。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 名古屋ライトハウス)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瀬古第一マザー園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド (KA-N 1710F) (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年 10月25日	6	平成30年 10月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>① 立位が不安定で、ベッドからの転落事故の多い利用者様に使用している。導入まではセンサーマット(床センサー)を使用していたが、センサーの反応が遅く、事故発生後の対応になってしまった。</p> <p>② 重度の認知症があり、ナースコールを押すことができない利用者様に使用している。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ナースコールと連動しており、利用者様の体動や動作を検知して寮母室に通知されるため、ベッドから降りようとされるタイミングで訪室することができるようになり、転落事故が減少した。 ・ 夜間、他の利用者様の居室に入ってケアをしている間、フロアー内の見守りが手薄になっており、転倒事故を未然に防ぐことができなかったが、ナースコールが鳴ることによって、夜勤職員3名のうちの誰かが駆け付けられるようになった。 ・ 利用者個々の状態に合わせてセンサーが反応するタイミングを設定することができるようになったため、誤作動で職員が訪室する回数が減少し、夜勤者の精神的苦痛の軽減につながっている。 ・ 事故を未然に防ぐことができるようになったことで、病院への受診の付き添い等の対応も減少し、結果として業務軽減に繋がった。 ・ センサーが反応することで、素早く利用者様の動きを検知することができ、結果として夜間の利用者様の失禁も減少した。その分、消拭や着替えのケアに割かれる時間も減り、職員の夜勤業務の負担軽減に繋がっている。 ・ 看とり対象者に対して使用することで、利用者の状態を把握することができ、夜勤者の精神的不安の軽減に繋がった。 			

(注)

・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月1日	3台	平成30年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入より18名の方に使用。 睡眠状況把握が行えた方から順次違う方の使用に変更を行っている。 15名の方の睡眠傾向について把握が行えている。 看取り期の方に使用して睡眠・脈拍・覚醒の把握・ご家族様への状態説明に使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況の把握を行う事により、トイレ誘導や巡回を必要時に必要な回数を行う事に繋がっており転倒・転落のリスク軽減が出来ている。 夜間の睡眠状況が良くない方には日中の安静時間調整の目安にもなり、体調を崩されることが減少しており、介護負担軽減に繋がっている。 看取り期の状態が数値やグラフで把握できるため、介護士の精神的不安軽減に繋がっている。 QOL向上に繋がっている。 ・眠り SCAN の使用をご家族様に説明をすると安心して頂ける。 			

(注) 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1（介護ロボット用）

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （ 社会福祉法人 王寿會 ）

事業所名 （グループホーム あおぞら）

サービス種別（認知症対応型共同生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<ul style="list-style-type: none"> ・導入より 15 名の方に使用。 睡眠・覚醒状況及びバイタルの把握を行っている。 			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間不眠傾向の方に使用を行い、睡眠状況の把握を行い、巡回やトイレ誘導時間の変更を行うと不眠が改善され転倒や転落のリスクが低下、また日中の覚醒時間が増加して排泄や入浴時の誘導がスムーズに行える回数が増加しており介護負担軽減に繋がっている。 ・覚醒時やバイタル低下時にアラーム通知もあり、看取り介護時に使用を行う事により状態変化の把握が適宜行えるため、職員の不安軽減に大きな効果を発揮している。またご家族の方にも使用を説明すると安心をして頂ける。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 瀬戸中央会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム つばき)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams 介護	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年 11月 9日	2台	平成30年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ aams はベッドよりの転落・転倒防止に使用 ・ 入居者の看取り期に、心拍のチェックとして使用 ・ 睡眠状態、呼吸状態のチェックとして活用 			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ベッド上での体動を感知することにより、ベッドよりの転落等を未然に防ぐことができおり、aams 使用時はベッドよりの転落事故の発生はない。 ・ 看取り期の介護スタッフ（特に夜勤スタッフ）の心身の負担を軽減している ・ 呼吸状態が波形グラフで確認でき、看護師不在の夜勤帯の健康状態の確認や医師への報告がグラフを用いてスムーズに行うことができた 			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人葆光会)

事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 24 日	8 台	平成 30 年 10 月 24 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>従来のベッド上センサーと床マットセンサー使用対象のご利用者様に使用している。 今回の介護ロボットには4つのモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)が搭載されている為、利用者様のADLに合わせて11人の利用者様を対象に常時使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上センサーを使用していた利用者様に関してはこれまでは誤作動も多く、誤作動による無駄な訪室が減り時間の短縮に繋がった。また、職員が訪室することによって利用者様が覚醒してしまい持続睡眠の妨げになることもなくなった。 ・4段階のモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)それぞれに3段階の感度が決められる為、様々な状態の利用者のシチュエーションほぼ全てに対応できておりケアプランも立て易くなった。 ・センサーコードによる事故のリスクが無くなった。コードの管理も必要無くなった為職員の介護時間の短縮に繋がった。 ・職員の過度な訪室や見守りが減少し精神的負担が減った 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年12月6日	6	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転倒リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始 <p>入所者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった</p> <p>終末期の方など常時監視が必要な方でも呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため、職員に安心感を与えることができた。</p> <p>ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月16日	10	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転倒リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始 <p>入所者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠り SCAN から得られた睡眠データを活用している</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった</p> <p>終末期の方など常時監視が必要な方でも呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため、職員に安心感を与えることができた。</p> <p>ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため。転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月21日	2	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転倒リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始 <p>入所者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった</p> <p>終末期の方など常時監視が必要な方でも呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため、職員に安心感を与えることができた。</p> <p>ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム巴の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	8	平成30年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き(動き出し・起き上がり・端座位)を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング(動き出し・起き上がり・端座位)を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のマット型センサでは難しかった、離床前の早い段階(動き出し、起き上がり、端座位)を検知し、既存のナースコールシステムに通知することができるようになった。 ・入居者に合わせて通知のタイミングを設定することにより、職員が優先順位をつけて対応しやすくなった。 ・特に人手の少ない夜間帯において、入居者の状況を把握することで職員の身体的・精神的負担が軽減されたと感じる。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム石野の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	2	平成30年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き(動き出し・起き上がり・端座位)を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング(動き出し・起き上がり・端座位)を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のマット型センサでは難しかった、離床前の早い段階(動き出し、起き上がり、端座位)を検知し、既存のナースコールシステムに通知することができるようになった。 ・入居者に合わせて通知のタイミングを設定することにより、職員が優先順位をつけて対応しやすくなった。 ・特に人手の少ない夜間帯において、入居者の状況を把握することで職員の身体的・精神的負担が軽減されたと感じる。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会医療法人財団新和会)

事業所名 (介護老人保健施設さとまち)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年3月27日	9台	平成30年11月5日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>平成31年3月27日より一般棟で5台、認知棟で4台の眠りSCANの使用を開始した。導入当初から現在に至るまで、夜間覚醒することが多い利用者に対して離床センサーの代わりとしての活用が主である。</p> <p>また、ターミナル期に入る利用者様に使用することで、状態の変化を早期発見し、適切な時期の家族面会に対応できる体制とした。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>これまでの経緯より、ターミナル期の利用者を使用することで、終末期の呼吸の乱れをかなり正確に捉えられることから、臨終の際にご家族が揃って見送りが出来るという活用が数件可能となっている。この活用法についてはかなり精度の高い情報を得ることが可能なので、概ねすべてのターミナル期の利用者様が、家族の見送りの元で旅立つことが出来ている。</p> <p>次に誤嚥性肺炎への活用については、呼吸状態の変化を捉えることが出来るため、早期に医師による診察につなげることが出来、その結果として呼吸器リハビリを導入、排痰を促すことで状態の改善を図ることが出来た。</p> <p>残念ながら、誤嚥性肺炎の予兆を捉えることは現段階ではできていないため、今後データの精査により誤嚥性肺炎そのものを予防して、利用者様の負担軽減および入院による経営面の不安定化を防止することに役立つと考える。</p> <p>加えて、離床センサーとしての活用が現在主な使用方法となっているが、これについては導入台数が少ないため介護職の負担軽減には至っていないが、ただの起居なのか？離床なのか？の判別が可能であるため、無駄な訪室の回数は減らすことが出来ているようだ。</p> <p>いずれにしても、上記のようなことを可能とする。また介護職の負担軽減に資するためには、すべてのベッドに導入されており、且つその情報が介護記録等に反映することが必要となってくるので、今後ナースコールシステムの改修と合わせての台数増加が必要不可欠であると考えている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (介護老人保健施設 千音寺)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年 10月 31日	8	30年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。昼夜問わずに、眠り SCAN の離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。個人個人によって設定の音も変更が可能なため、音で入所者の判別をして活用している。

眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。

【介護ロボットの導入効果】

入居者様が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、転倒や転落の防止に役立っている。

夜間などの睡眠や体動のデータが確認できるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。全然寝ていないと話される方に対してもデータを分析しどの程度休めているかも根拠に基づき不眠への対応を検討できている。

呼吸状態、脈拍数もデータで見れるため、体調の変化の早期対応に役立てれるように看護部とも共同で情報を確認している。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙 4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (グループホーム千音寺)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年 10月 31日	2	30年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて眠り SCAN の離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>入居者が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、転倒や転落の防止に役立っている。特定の入居者に関しては明らかに導入後転倒の回数が減っているのを実感できている。</p> <p>夜間などの睡眠や体動のデータが確認できるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙 4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (なごみの郷ショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 12 月 13 日	1 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで	
【介護ロボットの使用状況】				
<p>必要度の高い利用者や利用日数の比較的長い利用者に対し使用している。 既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
<p>ショートステイの場合、在宅からの環境の変化により、寝付けない利用者もいるため、睡眠されている場合には、せつかくの睡眠を妨げることは避けたいことから、睡眠を妨げることのない対応により、安眠を得られたという効果は大きい。過度な居室への訪室が減少したことも睡眠を守る一助になっている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)
 事業所名 (グループホームなごみの郷)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年12月13日	2台	平成30年11月5日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。 パソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。 その他、心拍数、呼吸数、動作状況をリアルタイムで把握し、業務効率化に繋げている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>睡眠、覚醒データを一定期間把握できることで、その方の睡眠リズムを把握することができ、当該ロボットを他の入居者が使用している際にも、ある程度の夜間帯の訪室時間やトイレ介助等の目安を把握することができた。これにより、安眠だけでなく、スタッフの夜間帯業務の効率化という効果があった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (特別養護老人ホームなごみの郷)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 12 月 13 日	3 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。</p> <p>既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。また、特に看取り期の入居者についても、スタッフの精神的な安心を得られるような活用がされている。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
<p>夜間帯における、定時の体位交換などについて、これまでは入居者の睡眠を妨げることもあったが、導入により睡眠を妨げることのない対応が多くみられるようになり、入居者の安眠に繋がっている。スタッフについても、過度な居室への訪室が減少したという効果もあった。</p> <p>また、特に看取り期の方へのケアに有効的に使用している。</p> <p>上記効果により、「安眠を妨げないことによる安心」、「心拍数や呼吸数をリアルタイムで把握できることで、看取り期の入居者に対する安心」等が得られ、スタッフの精神的な負担軽減効果もあった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 百陽会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム アカオレ岡崎六名)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		DreamCare リスクマネジメント&介護スタッフ支援システム(見守りシステム)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 27 日	3 台	平成 30 年 9 月 27 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ご入居者様の居室に1台ずつ設置しています。職員の待機場所にタブレット端末を置き、居室内の状況を把握しています。ご入居者様のバイタル反応の異変があった場合に、部屋を訪問し確認をしています。また、スクリーンショットの静止画で様子も確認しています。</p> <p>また、体動が大きく動いた場合動画も録画することで異常時の行動を把握できます。</p> <p>過去の離床、臥床のデータも残っているため、その方の日頃の1日の生活リズムについても確認しています。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p><バイタル把握機能></p> <p>一覧画面でフロア内全てのご利用者の状態が一目で確認できるため、職員に安心感を与えることができます。特に人員の少ない夜勤では、一目で20名(2階フロア)全ての方が平穏かどうかの確認ができます。</p> <p>また、看取り介護時に自宅から対象者の状態を確認することもでき、オンコールの看護職員の負担軽減にも役立っています。</p> <p><スクリーンショット機能></p> <p>動きの多い方や、緊急度が少ない動作お知らせ機能反応の多い方は、スクリーンショットの静止画で確認でき、訪室の手間を減らすことができます。</p> <p><活動量データ記録></p> <p>活動量により、毎日の離床、臥床時間が自動記録されているため、その方の1日の生活リズムを掴むことができます。生活リズムを新人職員も把握することが容易になるため、ご入居者様の変化を把握することもできています。</p>			

(注) - 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (特別養護老人ホーム誠和荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
30年9月30日	8台	30年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで	
【介護ロボットの使用状況】				
<p>①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。</p> <p>②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜逆転の方 ・認知症にてトイレの場所がわからない方 ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。 ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。 ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (誠和荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
30年9月30日	1台	30年9月30日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。</p> <p>②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜逆転の方 ・認知症にてトイレの場所がわからない方 ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。 ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。 ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知慈恵会)

事業所名 (特別養護老人ホームあいふるの里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド (パラマウントベッド社製) 型式: KA-N1570F 離床 CATCHI III内蔵	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月16日	3台	平成30年11月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサー内蔵ベッドを3台導入し、2階フロアで1台、3階フロアで2台使用しています。 ・ご利用者の転落・転落事故の防止を目的として、ベッドからの転落の危険性があり、センサー対応かつ低床対応が必要な方、夜間多動傾向にある方を対象に使用しています。 ・令和2年度の介護ロボット導入支援事業費補助金において、さらに3台同一製品を購入しており、特養定員80名に対して6台の導入実績となりました。見守りが必要となるご利用者が増えてきている状況の中、見守り機能を活用し、転落・転倒事故の防止に努めています。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内蔵センサーは細かな設定(座位・起き上がり等)ができることから、ご利用者の動作に応じた設定で見守りが可能となり、誤作動による頻回な訪室が軽減され、職員の負担軽減となっています。 ・内蔵センサーの感度が的確なことから、事故に繋がる前にナースコールで訪室することができるため、導入ベッド6台(平成30年度3台、令和2年度3台)を使用しているご利用者に対して迅速な対応ができる体制となりました。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 共愛会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊治共愛の里)
 サービス種別 ()

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援ベッド (エスパシア3 モーター電動ベッド) パラマウントベッド(株) 製		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
30年12月6日	6台	30年9月6日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<ul style="list-style-type: none"> ・終日トイレ誘導の必要な方や、昼夜逆転傾向にある方、立ち上がりが不安定でベッドから転落や転倒の危険性が高い入所者6名を対象に、常時使用している。 ・使用方法としては、対象者が <ul style="list-style-type: none"> ① ベッドから上体を起こした時 ② ベッドで端坐位をとった時 ③ ベッドから立ち上がった時 の3つの動作のうち、どれかが確認された際 ナースコールで確認できるよう設定した。 ・対象者に合わせて、動き始めのお知らせのタイミングを設定できることで、事故防止や介助のタイミング、毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化を図ることができている。 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ul style="list-style-type: none"> ・今までのベッド下に設置するセンサーマットとは違い、当該機器からの通知により、対象者の動き始めを知ることができるため、転倒や転落等の事故発生を未然に防ぐことができている。 導入し始めてから 転倒の事故について 23%程度の減につながっている。 ・特に夜間帯での対象者の行動を把握することができるため、同時に通知があった場合も優先順位を考慮してから、介助に入ることができる。 ・ユニット型施設における夜間従事者の安心感や見守り業務の効率化に効果がある。 				

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり邸)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams/アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月15日	2台	平成30年10月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>重度で看取り時期の方で、職員が目視、巡回だけでなく、呼吸や心拍の状態をキャッチしてもらえることで職員の精神的、身体的負担の軽減を図ることができています。また、体調の変化も気付くことができ、早期発見、早期治療に結びつき、サービスの向上にもつながっています。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人開生会)

事業所名 (医療法人開生会老人保健施設ラベンダー)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月30日	10	平成30年11月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方で転倒、転落のリスクの高い方 ・医療依存度が高い方 ・看取りケアが必要となった方 ・新規入所の方(一定期間使用し、睡眠状態、生活リズム等を把握) ・夜間の睡眠の状況を把握したい方(トイレ誘導のタイミング等を知るため) ・個室で体調観察を行う方(感染症対策) <p>主に上記の方を対象に継続して使用し、分析・検証している</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 療養者様の急な状態・容態変化がアラート通知されるため、夜勤帯の限られた職員での見守り業務の負担軽減業務の効率化につながっている。 ② 対象者に合わせて、心拍数や体動の感度などの設定を行うことで夜間の事故防止や看取りケアへの速やかな対応につなげる事ができている。 ③ モニターで離床予測が確認できるため、素早く訪室し対応する事で認知症等の方の転倒、転落事故防止につながっている ④ 新規入所者の方や感染症対策の活用については、睡眠状態・容態・行動パターンを分析検証し夜間の事故防止対策や質の高い個別ケアにつなげることができる。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人おかざき福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム かわいの里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年12月	2台	2018年11月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該機器を使用し、離床時に転落や転倒の危険性を軽減するために、ベッドから起き上げられるが、立位、歩行が安定しない方に対して、常時使用している。 ・夜間不眠の傾向が顕著な方等の、睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に使用している。 ・終末期の利用者に使用し、覚醒状況、心拍数、呼吸数などを頻回な訪室をせずにモニタリングでき、利用者様の安静とスタッフの負担軽減を図っている。 ・データを保存し、定期的な話し合い・解析・検討を行っている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターでの状態確認ができるようになり、ラウンド業務の軽減だけでなく職員のストレス軽減にも繋がり、安心して仕事をするできるようになった。 ・特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も今まで以上に減少している。 ・今までのセンサーマットは床設置のものであり、マットに触れなければ反応せずコールがあり居室に向かった際には、既に転倒されていたこともあった。 しかし、起き上がりに対しセンサーが反応するため 今までよりも早く居室に向かうことが可能になり、転倒事故を未然に防げた。 ・ご家族様に保存データ(履歴)を紹介することで、夜間帯や日常の詳細な情報を数字やデータ内容で理解していただくことができ、終末期(看取り期)の話し合いの参考資料とし、より具体的な話し合いができるようになった。 ・夜間帯排泄介助時、入眠状態を確認し、覚醒時または眠りの浅いタイミングを確認し排泄介助にはいることで、入居者様の眠りを妨げることなく介助を行うことができ、睡眠の質の向上につながる。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八事福祉会)

事業所名 (第二八事苑)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
セキュリティ型ロボット		フランスベッド 低床3モーターベッド 見守りセンサーM2付 FBR-N135 W1/W2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月28日	3台	平成30年11月7日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ご入居者50名中、特にベッド上での体動が顕著なご入居者3名に使用。</p> <p>1 A様 女性 80歳代 要介護3 昼間はほぼ起きてみえる。夜間1~2回ほどトイレへ行こうとゴソゴソされることあり。起き上がり時にセンサー反応するので都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。</p> <p>2 B様 女性 70歳代 要介護3 昼間はほぼ起きてみえる。夜間は就寝前まで何度もゴソゴソされトイレへ行こうとされる。端座位時にセンサー反応するので都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。</p> <p>3 C様 女性 80歳代 要介護4 昼間はほぼ起きてみえる。カーテンを開けたり、トイレへ頻繁に行かれたりしようとする。端座位時にセンサー反応するので都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>平成31年4月から令和3年3月までの間の効果。</p> <p>1 起き上がり時にコールが鳴るため、いち早く気付いて対応できる。定期的の確認しに行く頻度を若干減らし対応できる。</p> <p>2 端座位時にコールが鳴り、いち早く気づいて対応でき、転倒防止ができる。職員が定期的の確認に行く頻度を若干減らし対応できる</p> <p>3 夜間、ベッド上での体動時にいち早く気づいて対応でき、転倒防止につながる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人さわらび会)
 事業所名 (特別養護老人ホームさわらび荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		見守りライフ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月 28日	5台	平成30年10月 31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒の危険性が高い方について、1階に3台、2階に2台使用 ・ 状況に応じて、転倒リスクの高い方へ使用を実施している。 ・ 使用時ケアプラン等に記載を行い、ご家族等の同意を得ている。 ・ センサーマットも使用しているが、センサーマットではすでに入居者様は端座位になっている状態で反応をしていることから、転倒リスクが高い。そのため、起き上がり時に反応をするように設定することで、より早期の対応が可能となっている ・ 転倒リスクの高い方の入居状況により、夜間放尿等の見られる方への使用も行っている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者の転倒等の発生状況は0件 ・ 使用者の臥床中からの転倒、転落による事故による怪我等発生状況は0件で継続中 ・ 病院からの受入(新規、退院)について、新規入所時及び退院時受入の身体拘束廃止実施率100%達成 ・ 協力病院でも使用している方である場合、施設新規入所時は継続使用をしている。その場合、現状使用している方で転倒リスクの低い方の使用をセンサーマットへ変更をしている。 			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 萬里の会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム悠々の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年12月17日	3台	平成30年12月17日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間眠れない利用者様に対し、眠り SCAN を活用することにより、対象者の睡眠状態（呼吸、脈拍、心拍数等）と睡眠リズムを理解するようにしている。 ・睡眠状況をみながら起きている時間帯に排泄介助を行う。 ・看取り対象利用者で状態悪化の場合、特に睡眠、呼吸、心拍、動作状況をパソコン画面で頻繁に確認し状態把握に努めている。 ・利用者様がベッド上で過ごしているかどうかを確認し、転倒や転落事故予防に努めている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の離床間隔や睡眠状況を把握し、家族様へ状態報告するのに役立っている。 ・睡眠の深さ、睡眠時間等のパターンの把握ができ、的確な情報を主治医に報告することが出来、薬の調整などに役立っている。 ・介護従事者の見守り業務の負担軽減や離床時の訪室など不用意な業務が軽減された。 ・目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位付け、入居者の安全、安心、満足度の向上につながる。 ・入居者の生活リズムに合わせてサービスを提供することで、生活習慣の改善を図る。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (看護小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)
 サービス種別 (看護小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月1日	1台	令和 年 月 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○施設を初めて利用される方(宿泊利用時)に使用。(昨年度から継続) 利用者の家族に使用の同意を得た上で一晩の睡眠状況(入眠から離床まで)を計測・分析。その結果を利用者の家族へ伝えるとともに、職員が夜間巡視や介護業務を行う参考とした。</p> <p>○登録利用者の施設内での宿泊中(ショートステイ時)に使用。 1週間以上継続して利用している方(家族等の同意を得た方)を計測し、睡眠状況(入眠から離床まで)のパターンを分析。その結果を踏まえ施設利用時の生活全般において配慮すべき事項を把握し、職員等の夜間での巡視や介護の対応を行った。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○夜間の就寝状況を、担当ケアマネージャーやご家族等への報告することで、ショートステイ利用時以外での生活(自宅等)での就寝時の留意事項の参考として活用できた。</p> <p>○利用者の就寝中の離床状況の要因(自ら起床?or転倒?など)を確認するのに寄与した。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム設楽苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りセンサー付きベッド		エスパシア (パラマウント社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
① 認知症 女性	端座位になり、床に降りようとするが立位不安定で転倒のリスクが高い。		
② 認知症 女性	現在は端座位になることはあまりないが、布団をめくり、足を下ろすことがある。転落のリスクが高い。		
③ 認知症全盲 男性	ナースコールの認識なし。排泄のため夜間立ち上がる。転倒リスクが高い。		
④ 認知症 男性	自分でベッドから起き上がろうとしたり、ベッドサイドレールに足をかけたりする等転落のリスクが高い。		
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上での状態確認の回数が減ることで、職員への負担が軽減されている。 ・センサーが反応した際、すぐ訪室することで早い段階で危機回避ができる。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム岡崎苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りセンサー付きベッド		エスパシア KA-N1810F (パラマウントベッド㈱)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】 ① 端座位設定で新規入所者に使用 夜間ポータブルトイレ使用時に反応 ② 起き上がり設定 帰宅願望のある利用者に使用 離床時に反応 ③ 起き上がり3秒に設定 離床し転倒の恐れのある利用者に使用 ④ 起き上がり設定 夜間離床し転倒の恐れのある利用者に使用			
【介護ロボットの導入効果】 ① センサー反応し直ぐ訪室しており転倒防止に役立っている。利用者本人も職員が直ぐ駆けつけてくれる安心感がある。夜間トイレ回数の把握が出来た。職員の心理的負担軽減につながった。 ② センサー反応後すぐに駆けつける事ができ、転落防止に役立っている。 ③ 端座位になる前に訪室する事が出来、転倒防止に役立っている。 ④ 立ち上がり前に駆けつける事が出来る。本人の動作状態に応じて感度調整でき柔軟な対応が可能。			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム一宮苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナースコールを押せない利用者 ・ 転倒したことがある・転倒の危険性がある利用者 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センサーの電源の切り替え忘れはない。切り替える手間もない。 ・ 利用者の状態に合わせ、センサー反応を設定できる。概ね端座位で設定し、ほぼ転倒することなく対応できている。センサー反応もかなり良い。 ・ タッチパネルは一度設定すると、ほぼ変更する必要がない。 ・ センサーマットを敷くと、「ベッドの横に何か置いてある」「これを踏むと人が来る」等と気にする利用者があるが、そのようなことはない。 ・ センサーマットで足を引っ掻けることやマットが動く(床とマットが滑る)ことでの転倒等の危険性はない。 ・ 掃除をする時もセンサーマットがなければ動かす手間はなく、時間短縮にもなる。 			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム瀬戸苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入口	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<ul style="list-style-type: none"> ・動き始めからベッド離床までの経過時間が非常に速いため、動きがある際は早急に駆けつける必要がある入居者様。(センサー設定「起き上がり」) ・自分でベッド上で動くことが頻回にある方。その行為は危険ではないが、端座位になった際は立ち上がり行為があり、その動きも速く歩行が不安定な入居者様(センサー設定「端座位」) ・端座位までは自身で安全に行うことができるが、立ち上がり後の歩行が非常に不安定な方。(センサー設定「離床」) 			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>夜間不安なためベッド上で動いてしまう方に対し、「起き上がり」設定をしたところセンサーによって転落事故防止につながった。</p> <p>排泄介助の際、入居者様の身体の移動でセンサー反応してしまっていた。このため設定を一時停止か解除する必要があり、ナースコール通話中の状態で対応していたが、操作方法の申し送りなどでセンサーをOFFの状態に対応ができるようになった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム佐屋苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位不安定でベッドから転倒、転落リスクの高い利用者に使用している。 ・日中ベッド上で過ごしている時も、自力で身体を動かしてベッドから落ちる可能性がある方に使用している。 ・余分なベッドがない為、使用しなくても良い利用者に使用している。ほとんどセンサーが鳴らないのが現状である。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドから降りたり、足を下ろしたりした直後に鳴る為、直ぐに駆け付ける事が出来、事故も減ったと思う。 ・ご本人様の動きがいつ不穏になるかわからないが、センサーが反応することで早くに対応することが出来ていると思う。 ・排泄交換時、少しでもベッドが揺れるとコールが鳴る為安心はできる。(きちんと作動している事が確認できる) 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム小牧苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア(パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 対象者4名に使用 ・ベッド上での動きがあり、転落の危険がある。 ・車椅子・ベッド間の移乗動作に介助が必要である。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 ・床対応者のベッド対応が可能となり、床対応では周辺環境や快適な睡眠の確保が難しい状況であったものが改善された。 ・入所の際の行動観察を兼ねて使用をすることで事前情報では得られなかった行動を知ることが出来た。 ・起き上がり設定の使用により、ベッドからの転落事故等を未然に防ぐ事が出来た。 ・ベッド上での動きに注意が必要な利用者に対して、訪室をしなくても行動観察ができ、職員の身体的・精神的な負担軽減にも繋がった。 ・センサーマットでの対応では間に合わなかった為に起きていた転倒等の事故が軽減した。 ・立ち上がりや歩行が可能であるが夜間帯に廊下に出て来て徘徊をする利用者に対して、起き上がり設定での使用をすることで、廊下に出て来る前に訪室し、早めの対応ができ、スムーズな入眠に繋げることが出来た。 ・ナースコール中継ユニットの一時停止機能を使用することで、通知オンへのし忘れを防ぐ事が出来ている。 ・ベッドの高さが22cmと低く、衝撃吸収マットを併用することで転落時の怪我のリスクが軽減されている。 ・ベッドナビですべての機能にアクセスできるため、設定や操作がしやすい。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム大府苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		見守りセンサー付きベッド エスパシア KA-N1810F	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッド①…歩行不安定な利用者が使用中(夜間端坐位でセンサー設定)。</p> <p>ベッド②…歩行不安定な利用者が使用中(夜間端坐位でセンサー設定)。</p> <p>ベッド③…左大腿骨転子部骨折で入院した利用者が退院時より使用中(夜間端坐位でセンサー設定)。</p> <p>ベッド④…車椅子の利用者が夜間の転倒予防のため使用(端坐位でセンサー設定)していたが、現在は使用していない。(次の対象者を検討中)</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ベッド①…コールが鳴るとすぐ駆け付けトイレ誘導ができており、転倒防止になっている。</p> <p>ベッド②…コールが鳴るとすぐ駆け付けトイレ誘導ができており、転倒防止になっている。トイレにパットを流す行動についても未然の対応ができています。</p> <p>ベッド③…コールが鳴るとすぐ駆け付け対応ができており、転倒防止になっている。</p> <p>ベッド④…対象者の現状に合わせ現在は使用していないが、使用中はコール対応により転倒防止になっていた。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム東郷苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>現在、4台とも2階(認知症フロア)にて使用している。</p> <p>○立位・歩行可能だが転倒リスクが高い女性利用者に使用。夜間臥床後も、ベッドからの立ち上がりが見られるため使用。「起き上がり3秒」でセンサー作動するように設定しているため、立ち上がる前に訪室でき、転倒防止できている。</p> <p>○立位可で車椅子使用の女性利用者に使用。以前はセンサーマットを使用していたが、センサーマットと反対側床に座っていることがあったため、エスパシアを使用開始。「端座位」設定しており、ベッドのどちら側でもセンサー作動するため転倒事故防止になっている。</p> <p>○シルバーカーを使用して歩行可能な女性利用者に使用。夜間、センサーマットを使用していた。トイレに行こうと立ち上がったが、介護員が間に合わずシルバーカーと一緒に転倒したため、エスパシアを使用開始。「起き上がり3秒」に設定しており、センサーマット使用時より早く対応できた。現在は眠剤服用のため、夜間立ち上がる回数は減少している。</p> <p>○自ら立ち上がることはないが体動があり、ベッドに端座位になったり、ベッドからのずり落ちに注意を要する女性利用者に使用。「起き上がり1秒」に設定しており、ベッド上で体動するとセンサー作動していた。またオムツ裁きがあったが、センサー作動時に訪室すると早期に発見でき、オムツ交換実施することにより、その後安眠されていた。現在はベッドに端座位になることは少なくなっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○センサーマットと比較し、床に配線が少ないためシルバーカーが引っかかったり、躓いたりすることが少ない。</p> <p>○センサーマット使用時に比べ、床清掃・センサーマット消毒時の手間が軽減されている。</p> <p>○エスパシア使用により、端座位になる前に訪室することができ、転倒・転落事故防止できている。</p> <p>○センサーマット設置と反対側に端座位になることがあったが、ベッドの両サイドでセンサー作動するため、事故防止になった。</p> <p>○排泄の不快感で体動していた利用者には、センサー作動時に確認することにより、早期にオムツ交換実施し安眠することができた。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ナースコールを押すことが難しい方で、ベッドからの転落、転倒のリスクのある利用者様に対して、センサーベッドとして使用。利用者様個々の状態に合わせ、センサーを設定。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>センサーマットだと利用者様が「何か敷いてある。」と違和感を持たれる方もいたが、センサーベッドを使用することで利用者様に違和感を持たれることなく対応することができた。</p> <p>利用者様の特性を考慮し、個々にセンサーを設定することで行動を著しく制限することなく速やかに対応することができ、ベッドからの転落、転倒事故は減少した。</p> <p>職員は利用者様が動き出した時にセンサー反応があるため、「ベッドから落ちていないか」と常に不安に感じることなく精神的負担も軽減できた。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム西尾苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 29 日	4 台	平成 30 年 9 月 28 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>① 認知症でナースコールを押して介護職員を呼ぶことを理解できない方で、入居時からベッド上で体動があり、転落のリスクが高いと判断し使用を始めた。端座位で設定し臥床時使用。訪室するとすでに床に降りてしまっていることもあり、臥床時にはベッドを最低床にして床には衝撃吸収マットを敷いている。</p> <p>② レビー小体型認知症、大腿骨、恥骨、尾髄骨の骨折、直腸がんを患っている。入居後、シルバーカーで歩いていたが食事以外は居室で過ごすことが多かった。R2.6の転倒から移動は車椅子、ほぼ居室で過ごすのがベッドから転落のリスクがあり導入した。起き上がり3秒設定、終日使用。</p> <p>③ 歩行に不安定さがあり、起きた時に気づけるように導入した。初めは端座位設定にしたが転落事故後、起き上がり0秒設定にした。臥床時使用。</p> <p>④ 足取りが悪くベッドからの立ち上がりの際ふらつく。危険認識も薄く、本人は転倒しないと思われるので導入することにした。起き上がり3秒設定で臥床時使用。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>① センサーが作動することで起きたことが分かり速やかに離床介助を行うことができる。センサーが作動しても訪室が間に合わず、自分で床に降りてしまうこともあるがその回数は抑制されている。床に降りたことで骨折というような大きな事故も起きていない。</p> <p>② 自分で起き上がり歩こうとして転倒することがあった。導入後は端座位になるまでに訪室することができ転倒・転落を防ぐことができている。</p> <p>③ 起きたり動きがあるとセンサーが作動するので駆けつけることができる。端座位になっていることはあるが、立つ前に訪室し対応することができる。</p> <p>④ 転倒が続いたために導入したが、それ以降ベッドからの立ち上がりで転倒はしておらず、作動時に訪室すれば良くなった。本人も昼寝中や夜間、何度も訪室されるのは気になると思われるので導入してよかった。</p>			